

2026 年度 大学院秋季入試（スポーツ・健康科学専攻）

修士課程（前期）

「専門科目（スポーツ科学領域・健康科学領域）」

---

【合否判定の方法】

《外国語（英語）科目》《専門科目（スポーツ科学領域・健康科学領域）》《面接試験》

提出書類および外国語科目試験、専門科目試験、面接試験の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、これまでの研究結果や大学院修士課程における研究計画の妥当性および研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2025 年 10 月 11 日

2 科目 「専門科目（スポーツ科学領域・健康科学領域）」（各100点満点）

※領域を選択

3 出題意図

・スポーツ科学領域の出題意図

設問1は、本学がリカレント教育の一環として実施している「地域スポーツクラブ活動指導者サートフィケートプログラム」の背景を踏まえ、現代の青少年スポーツを取り巻く環境および社会的枠組みに関する理解を問うことで、スポーツ科学分野における研究を推進するための基礎的視点および思考力を判断することを目的としている。設問2は、日本においてスポーツ科学を研究する場合、スポーツに関する法制度の知識を有することが研究の方向性を考える上で重要であるとの観点から設定した。

・健康科学領域の出題意図

本試験では、健康科学分野における高度な研究能力と専門的素養を評価するために、以下の3つの観点から出題を行っている。

（1）科学的根拠に基づく分析力

提示された統計データや数値から、客観的な事実を抽出・解釈し、論理的な裏付け（エビデンス）を持って事象を説明できるか。

（2）多角的な病態・課題理解

個別の疾患や健康課題に対し、生物学的・生理学的な機序だけでなく、社会背景やライフスタイルといった多因子的な視点から考察できるか。

（３）実践的な解決策の提案力

専門職として、個人のウェルネス向上や社会全体の健康課題解決に対し、倫理的かつ実現可能な介入策（ヘルスプロモーション、多職種連携等）を立案できるか。

以上